

第 10 回エネルギー・マテリアル融合領域シンポジウム
「水素社会の実現に向けた要素技術の進展と展望」

開催のご案内

主催：北海道大学大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター

共催：日本鉄鋼協会サステナブルシステム部会グリーンエネルギーフォーラム

協賛：日本金属学会北海道支部

日本顕微鏡学会北海道支部

日本エネルギー学会北海道支部

北海道エネルギー懇話会

日 時：令和 3 年 11 月 11 日（木）

会 場：Zoom によるオンライン開催

参加費：無料

参加申込方法：氏名、勤務先、所属をご記入の上、e-mail にて 11 月 10 日（水）までに下記申込先へお申し込み下さい。折り返し、シンポジウムの web アドレスをお送りいたします。

申込先（兼連絡先）：

〒060-8628 札幌市北区北 13 条西 8 丁目

北海道大学大学院工学研究院附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター

岸本 相子

TEL：011-706-7196, e-mail：a.kishimoto@eng.hokudai.ac.jp

（詳細は、ホームページ <https://www.eng.hokudai.ac.jp/labo/carem/> をご覧下さい。）

第10回エネルギー・マテリアル融合領域シンポジウムプログラム

「水素社会の実現に向けた要素技術の進展と展望」

12:50 開会挨拶

北海道大学大学院工学研究院工学研究院長 瀬戸口剛

12:55 シンポジウム趣旨説明

附属エネルギー・マテリアル融合領域研究センター長
渡辺精一

13:00-13:30 メモリアル講演：

「自然の人 秋山友宏先生の軌跡」

エネルギーメディア変換材料分野 准教授
能村貴宏

13:30-14:30 招待講演 I：

「高密度水素化物の材料科学 -新学術領域ハイドロジェノミクスへの展開-

東北大学材料科学高等研究所所長 折茂慎一

(休憩)

14:40-15:40 招待講演 II：

「水素の先端計測 -ナノスケールでプロトンとスピンを見る」

東京大学生産技術研究所教授 福谷克之

(休憩)

15:50-17:50 エネマテセンター若手研究員等研究助成成果報告：

「二酸化炭素の水素キャリア利用を実現する MXene 担持銅触媒の開発」

助教 國貞雄治 (マルチスケール機能集積分野)

「Evaluation and improvement of radical reactions in submerged photo-synthesis for the fabrication of metal oxide nanocrystallites」

助教 張麗華 (光・熱エネルギー変換材料分野)

「中性子透過ブラッグエッジイメージング法における転位密度評価のためのデータ解析法の開発」

准教授 佐藤博隆 (中性子材料解析研究室)

「水素および希ガスイオン照射した酸化タングステン光触媒を用いた有機色素の分解」

助教 中川祐貴 (量子エネルギー変換材料分野)

「塩化揮発法による籾殻からの有用成分と機能性材料のコプロダクション法の開発」

特任助教 望月友貴 (エネルギー変換システム設計分野)

「Fundamental study on the utilization of urea as a reducing agent for low-grade ore-based ironmaking」

博士研究員 Ade Kurniawan (エネルギーメディア変換材料分野)

17:50 閉会挨拶